

新たな100年へ

池井戸貞夫会長年度テーマ



超我の奉仕

国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

E-mail seinan1@fancy.ocn.ne.jp <http://rc.nagoya-seinan.org/>

第504回例会No.11平成17年9月22日(木) 晴

友愛例会

ロータリーソング 「それでこそロータリー」
出席報告 会員49名中30名出席
出席率 62.50% 出席計算人数48名
修正出席率 9月8日 93.75%
ゲスト オペラシオンユニ 小園四男氏、
尾上公一氏、秋田宏樹氏
南山大学アイセック委員会
伊井彰信さん
ビジター 上野東 RC 松井陽樹さん他1名

会長エレクト候補

安江英雄

本日は、池井戸会長、渡辺副会長が欠席のため私が代理で挨拶させていただきます。
勉強のつもりで話をさせていただきますので聞き苦しいかと思いますがどうか宜しくお願い致します。
一昨日、スーパーダイエーの中内功社長が亡くなりました。中内さんとは30年前箱根の小涌園で行われていました商業界ゼミナールで一緒に過ごして頂き、数々の教訓を受けさせていただきました。中内さんの持論は「お店は客の為にある」自分の為に使うのではなくすべてはお客様に使って頂くと言うものです。創業当時の苦しかった事、売上が一兆円を越した時の事等、色々教えて頂きました。昨日の中日新聞の「中日春秋」の欄に「わかりました田村一等兵はこれより直ちに病院に赴き入院を許可されない場合は自決いたします」フィリピンでの悲惨な敗残兵を描いた大岡昇平さん傑作「野火」の一節です。一昨日亡くなられたダイエー創業者中内功さんはこの一等兵のモデルとも言われています。本人は「その話しはあまりしたくない」ただ惨状は戦争で人生最大の哲学を体得した。それは人間を信じる事だった。食物を求めて一緒に歩く戦友も何時自分を殺すか解らない。「食われてもいいではないか、友を信用しよう」と眠りについた。徹底的な人間不信から生まれた人間信頼、極限の飢餓体験は人々に生きる糧を提供する使命感も生み出した。そして、良い品をより安く、より多くの人々に幸せになって頂きたいと言う信念が生まれたと云う。
私も「店は客の為にある」お客様に幸せになって頂くと言う信念を持って、今与えられた現状に立ち向かっ

て行きたいと存じます。

ニコBOX

安江会長エレクト 本日は会長、副会長がご欠席ですので代理挨拶をさせていただきます。勉強のつもりでさせていただきます。

岡田さん 古希の祝いを有難うございました。

森さん 長谷川先生、お世話をおかけしました。有難うございました。

秋分の日。昼と夜の長さが同じ時間になるという日。あんなに暑かった夏もいつしか終わって、すっかり秋めいてきました。また、交通安全週間になんで。

鈴原幹事、川崎、中川、西垣、小野(敬称略)

ゲストスピーカー、オペラシオンユニの小園四男様、尾上公一様、秋田宏樹様 歓迎いたします。
長谷川、二俣、水野、磯部(敬称略)

加藤さん 23日、誕生日を迎えます。

大林さん オペラシオンユニでご活躍の方々をお迎えして歓迎申しあげます。

津田さん

= 見に来てね 生まれて初めて 美術館 =
パルコ西側の大林堂の2階。下手ですが。

本日合計 33,000円

Host Family 募集

会員団体 アイセック南山大学委員会 伊井 彰信

アイセックは、海外から日本にインターンシップに来る海外研修生のホストファミリーを募集しています。アイセックは学生からなる非政治・非宗教の国際学生 NPO です。現在は世界 92ヶ国の国と地域にまたがり、700大学以上に委員会を持ち、約5万人の学生が活動を行う、世界最大規模の学生組織です。主な活動として海外インターンシップ運営活動(海外研修生交換事業: International Traineeship Exchange Program)を行っており、年間2500人程度の学生を交換しています。ホストファミリーの方には、日本の企業にインターンシップに来る海外の学生のための部屋や食事を提供していただきます。滞在期間は学生によって異なりますが、大体二ヶ月間を目安としています。出身国や、日本語の話せる度合いも学生ごとに異なります。ホストファミリーをしていただける方、興味をもたれた方は担当の伊井までご連絡下さい。(連絡先は西南 RC 事務局までお問合せ下さい。)

幹事報告

1. 昨年度の関西国際大会の記念誌が出来上がりました。購入希望の方は事務局まで。

卓 話

「ボランティア団体“オペラシオンユニ”と

海外医療協力活動の実情

小園四男さん、尾上公一さん、秋田宏樹さんより現地の状況と活動の実情をご報告いただきました。



ガバナー月信9月号より抜粋

褒章について(前号からの続き)

2005-06 年度 RI 会長賞 超私の奉仕

会員目標(必須)

会員 1 名かそれ以上の純増を達成するために、2006 年 4 月 1 日までに会員勧誘計画を立て実施する。

公共的イメージ

RI ウェブサイトにあるように、2005-06 年度公共的イメージ推進グループの推奨する活動の 1 つに参加する。クラブ協議会および会合を実施し、地域社会内でロータリーを推進する計画を導入する。少なくとも 2 回、ロータリークラブの行事をマスコミに大々的に報道してもらう。公共奉仕アナウンスメントを新聞に掲載したり、公共奉仕放送をラジオやテレビで放送してもらう。RI 広報賞の推薦書を地区ガバナーに提出する。

クラブ奉仕

今年、クラブのすべてのロータリアンがクラブの活動に積極的に参加するよう、一人ひとりに呼びかける。プロジェクト委員会の委員を務めたりクラブ奉仕のある面を担当するなど、参加の形は問わない。

クラブのロータリアンで広範囲にわたる様々なクラブ・プロジェクトやプログラムに積極的に参加した人を、四大奉仕部門功労者賞として表彰する。今後 3 年から 5 年の長期計画目標について話し合うため、次期役員も含めたクラブの指導者を集めて会合を開く。

クラブ奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

職業奉仕

クラブの各会員に、国際ロータリーおよびクラブの活動に関する情報を職場や専門職業団体と共有するよう要請する。職業奉仕は生活の質を向上させ、ロータリアンの高い倫理観と誠実さを支える大きな可能性を秘めている。クラブ例会の少なくとも 2 回をこのような職業奉仕に充て、話し合う。国際レベルで、または地元の地域社会において、識字率向上やその他の教育プロジェクトを実施する。職業奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

社会奉仕

地元の他団体と協力して、クラブ会員が立案と活動へ直接に参加できる共同プロジェクトを行う。

地元地域で水プロジェクトを実施する。

世界ポリオ撲滅推進計画におけるロータリーの役割を広報してもらうために、地元報道機関に連絡を取る。少なくともクラブ会員の半数が参加できる社会奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

国際奉仕

1 人当たり米貨 100 ドルかそれ以上を目標に掲げ、ロータリー財団年次プログラム基金への寄付を増やす。研究グループ交換、ロータリー友情交換、青少年交換といった国際交換プログラムに参加することによって、クラブの会員にロータリーの国際性を理解してもらうよう努める。

水保全や衛生に取り組む国際奉仕プロジェクトを実施する。

少なくともクラブ会員の半数が参加できる国際奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

2005-06 年度ローターアクト会長賞

ローターアクト・クラブも、「超私の奉仕」を示す価値ある奉仕活動を実施することにより表彰されます。受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブは、本要項に挙げられている活動の中から少なくとも 3 つの活動を実行しなければなりません。ただし、そのうち 1 つは社会奉仕、またもう 1 つは国際奉仕に属するものでなければなりません。提唱ロータリークラブの会長と RI 地区ガバナーは、ローターアクト会長賞申込書に署名し、RI 世界本部に 2006 年 4 月 15 日までに提出してください。

次回例会のご案内

10月6日(木) 第 506 例会

「職業奉仕卓話」 河合良明さん